



## 皆様からのご質問にお答えします

今回お送りしました付利通知の内容について、ご質問とその回答をまとめましたので、ご覧ください。

Q：なぜ付利通知が送られてくるのですか？

A：納めた保険料やその運用結果などを確実にお知らせするためです。

農業者年金の仕組みは、保険料や加入期間に応じて受け取る年金額が事前に決まっている制度とは違い、皆様が納めた保険料とその運用収益を合計した金額によって受け取る年金額が事後に決まる制度です。このような年金制度を「確定拠出型」と言います。

確定拠出型の年金制度では、納めた保険料とその運用収益を合計した金額が将来受け取る年金額に大きな影響を与えます。このため、それぞれの加入者の方に保険料などの積み立て状況を毎年通知させていただいております。

Q：農業者年金から脱退したのですが、なぜ付利通知が送られてくるのですか？

A：年金を受け取るまでの間の運用結果等をお知らせするためです。

農業者年金においては、保険料の納付を終えられた方や途中脱退された方におかれましても、年金を実際に受け取るまでの間は、納められた保険料などが引き続き運用されておりますので、付利通知が送付されます。なお、脱退一時金をお支払いする制度はありません。

Q：マイナス運用への対応は何かありますか？

A：マイナス運用を補う仕組みがあります。

農業者年金では、付利を安定的に行うため、一定水準以上の運用成績が得られた場合に運用収入の一部を留保して、付利準備金として積み立てる仕組みがあります。

①65歳以降の年金裁定時に付利累計額がマイナスとなった場合、及び②各年度の付利原資がマイナスとなった場合に補てんします。①の必要な水準を確保している場合に、②の補てんを行います。

**Q：旧制度の年金額等について知りたいのですが。**

**A：農業委員会またはJAの窓口にお問い合わせください。**

お手数ですが、お住まいの地域の農業委員会又はJAにご本人確認ができるものをお持ちの上、お問い合わせください。なお、旧制度の概要についてのお問合せは、基金の専門相談員でも受け付けております。

**Q：世界情勢の影響を受け、市場は大きく変動する場合がありますが、農業者年金の運用は大丈夫なのですか？**

**A：長期にわたり維持すべき資産構成割合（政策アセットミクス）を設定し、分散投資を行っています。**

世界情勢の影響を受け、市場は大きく変動する場合がありますが、基金では、債券の金利や株価、為替が変動することを前提に、各投資対象資産のリスクとリターンの特性を踏まえた最適な資産構成割合（政策アセットミクス）を定め、その構成割合を維持するように分散投資を行いつつ、長期的な運用により安定した運用収益を上げることに努めています。

今後とも市場の状況を注視し、その時々で取り得る最善の対策を講じるよう努めてまいります。

**Q：なぜ令和8年4月からの為替ヘッジ比率を50%に引き下げたのですか？**

**A：被保険者ポートフォリオの長期的な期待リターン（期待される運用利回り）を高めるためです。**

外国債券の運用に係る為替ヘッジ比率は、平成30年度以降、100%としてきましたが、国内外の金利差を主因とする為替ヘッジコストの高止まりを受けた暫定的な対応として、令和5年11月からは75%に引き下げたところです。

為替ヘッジコストは、被保険者ポートフォリオの複利効果を弱め、長期的なリターンを下押しすると考えられます。

このため、令和8年4月からの為替ヘッジ比率につきましては、外部有識者で構成される資金運用委員会の了承及び農林水産大臣の認可を得て、50%に引き下げました。

同封している「農業者年金加入者の皆様へ」に記載のとおり、令和8年4月現在の被保険者ポートフォリオにおける外国債券の保有割合は20%ですが、このうち、10%分には為替ヘッジを行っていることとなります。